

事例：森永乳業株式会社様

## 「インターンシップを契機とした新卒採用×障がい者雇用推進」

### 事例10：森永乳業株式会社様

- ▶ 森永乳業株式会社様（以下、森永乳業）主催の学生向け1DAYインターンシップにおいて、障がい者雇用を切り口としたワークショップを実施。自社を知ってもらうための企業説明だけでなく、学生から社会人になるにあたって必要な準備・心構えを知り、またご自身の障がいをふまえた働き方、企業の選び方を学べる機会とした。
- ▶ 森永乳業では、これまでも障がいがある学生を積極的に採用してきたが、入社以前からより深く自社および業界について知ってもらい、またどのような人物像を求めているのかを伝える機会を作りたいと感じていた。一方で、学生に自社を紹介するにあたり、組織風土などを可視化する方法などに課題感があり、外部の活用も含めて検討していた。

#### 課題意識

- ▶ 森永乳業では、“かがやく笑顔のために”をスローガンに、多様な職種・部門で健常者と同じように障がいがある社員が活躍している。
- ▶ 障がいを抱え就職活動をしている学生に向け、「挑み続ける森永乳業」などに代表される自社の求める人物像を伝え、また今後の就職活動に有益な機会を提供できないかと検討していた。
- ▶ 一方で、自社の風土・意識・価値観などを客観的に、可視化して示すことの難しさに課題感を感じていた。

#### アプローチ

- ▶ 障がいがある学生向けの1DAYインターンを開催し、企業説明の他に、外部講師を招いたワークショップと、障がいがある先輩社員との座談会を実施した。
- ▶ 上記インターンシップ開催に際し、事前に人事部門および障がいがある社員に診断を実施し、ワークショップ内で学生たちに客観的な組織風土をフィードバックした。
- ▶ 企業説明・ワークショップ・座談会を通じて、学生がそれぞれ企業を選ぶ際に重視すべき要素と優先順位を整理し、気づきと学びを得られる機会とした。

#### ❖ POINT !

- ① インターンシップを通じて、**森永乳業での多様な働き方と可能性、求める人物像などの情報を発信した**
- ② 事前に人事部門および障がいがある社員に診断を実施し、**自社の組織風土を可視化してフィードバックした**
- ③ 障がいがある学生に向け、就労していく上で重要なことは何か、**気づきと学びを得られる機会とした**

# 1DAYインターンシップ実施概要

- 約3時間のインターンシップを、「企業紹介」「ワークショップ」「座談会」の三部構成で企画。単純に自社を知ってもらうだけでなく、自社が求める人物像や期待感を伝え、また企業の障がい者雇用の観点から、視点の変化（個人⇒組織）への気付きを促す構成とした。

30min

## Session.1-1 企業紹介 森永乳業

- 森永乳業に対する思い込み、先入観からの変化
- 自社及び業界のお役立ち・社会的責任および、社内の豊富な職種・活躍の可能性
- チャレンジ・成果・意欲・責任といった、求められる人材のキーワード

10min

## Session.1-2 社内制度等紹介 森永乳業

- ワークスタイル変革への取り組み・諸先輩の活躍ぶり
- 障がいの有無、育児・介護などあらゆるバックグラウンドをもつ社員の働き方事例について など

90min

## Session.2 ワークショップ NANAIRO

- 社会人として就労に向けた意識付け、心構えについて
- 就労イメージの想起と、自身の職場での活躍に必要な環境について整理
- 気付きの促しと、診断結果をふまえた客観的な観点から森永乳業を知る

40min

## Session.3 座談会 森永乳業/NANAIRO

- 現在、森永乳業で障がい当事者として活躍されている先輩社員の方々との交流
- ワークショップ担当講師も参加し、障がいがありながら就労していく上でのアドバイス、意識などを先輩社員の方々と共にコメント

インターンシップ全体を通じて、森永乳業だけでなく社会全体がこれからの新社会人に何を期待をしているかメッセージを発信。また、障がいの有無に関わらず、今後働いていく上で自分にとって何が大切かを考え、その優先順位の整理を行うことによる学びと気付きを促した

# ワークキャリアビジョン開発プログラム（インターンシップ内ワークショップ）

90min.

- **オリエンテーション**
- **ケーススタディ：判断軸と優先順位**
- **自分を知る**  
-自己紹介と学生時代のふりかえり
- **企業、社会から求められているもの**  
-森永乳業企業説明の感想
- **学生・個人の視点から社会人・企業の目線へ**  
-自己紹介と学生時代のふりかえり
- **障がい者雇用を契機とした視点の変換**  
-学生から社会人へ、個人から組織への視点変化  
-森永乳業の診断結果フィードバック
- **判断軸を定める**  
-自身が就労していく上での優先順位  
-自身の活躍に必要な環境への気付き
- **質疑応答、まとめ**
- **座談会へ参加するにあたってのアドバイス**



- **対象：障がいがあるインターンシップ参加学生**
- **研修の狙い：**
  - 1.現在の自分に何ができるかを整理した上で、企業から求められていること、また社会人として期待されていることは何かを学ぶ
  - 2.自分がこれから就職をしていく上で何が重要か、自分自身の判断軸を構築し、また優先順位を決める
  - 3.企業視点からみた障がい者雇用を知り、視点を変えたものの見方を学ぶ

# 森永乳業における障がい者雇用の位置づけ（ワークショップ内フィードバック）

## ① 人事部門の障がい者雇用への意識

NANAIRO診断受診企業（人事部門） **4位** / 57社中

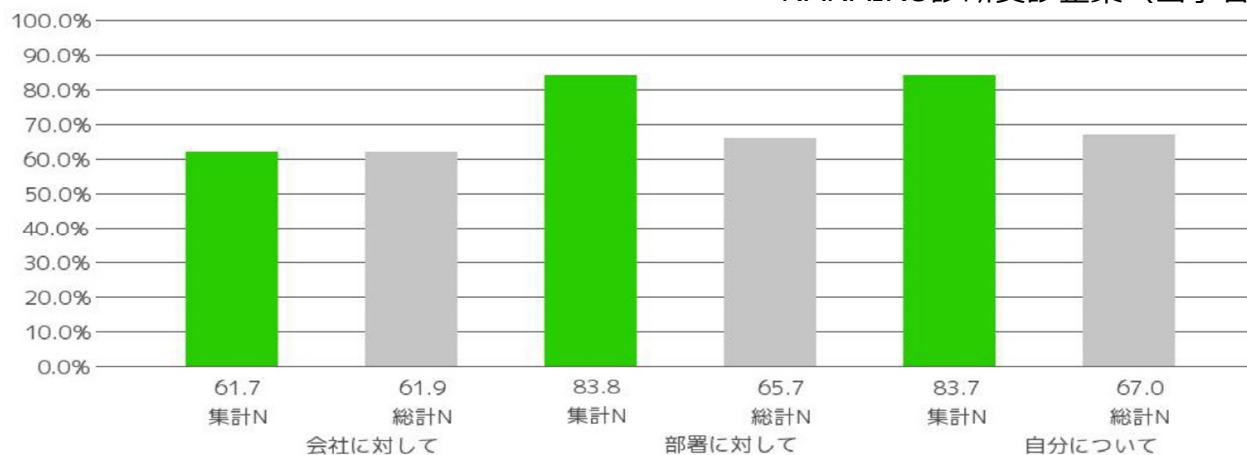
類型 **L T A R** 型



記号	類型種	着目点	集計N	総計N
SL	長期視点	計画性・PDCA・教育・キャリア・コミュニケーション	82.3	56.0
PT	全体運動	経営関与・経営リソース配分・組織化・コミュニケーション	71.4	58.8
EA	活躍志向	モチベーションマネジメント・サポート・教育・経営関与	85.0	55.8
PR	顕在成果	取り組みに対する、現時点での成果の表れ	85.3	54.5

## ② 障がいがある先輩社員から見た森永乳業

NANAIRO診断受診企業（当事者） **1位** / 13社中



# 1DAYインターンシップ実施結果

## ■ 点数評価結果（評価点）

※1～5の5段階評価、1が最も評価が低く、5が最も評価が高い

項目	平均点（※）
このインターンシップに参加して良かったと思う。	5.00
外部講師を招いたワークショップはあなたにとって有益でしたか。	5.00

## ■ フリーコメント抜粋

- ✓ 自分が会社を選ぶ基準や優先順位をどう決めていったらよいかというのが明確になった。
- ✓ 自分に障がいがある中で、どのような働き方ができるのかを様々な例を示して話して下さったところ。自分が働くときのイメージを持つ事ができた。
- ✓ これからの森永乳業は健康志向だけではなく、海外での活動も視野に入れていることがとても伝わりました。高品質な商品を作るために製品改良を繰り返していることがよくわかりました。
- ✓ 森永乳業では、様々な障がいを持っている社員の方々が不自由を感じることなく働いているか知ることが出来て参考になりました。
- ✓ 自分達が未来の日本のために期待されていて障がいをハンディではなくひとつの魅力として自分を企業に売り出していくことの大切さを教えていただきました。
- ✓ 社会においてどのような立場に自分達が置かれているのか、自分達がどのようなことを期待されているのか、またどのように就職活動を進めたら良いのか、理解することが出来た。
- ✓ このような機会に外部の講師を呼んで講演頂くというのはとても貴重な経験をさせていただけたと感じています。今日学んだこと、気づいたことをもとにもう一度整理をして、自分の就職活動をより円滑に進めたいと思いました。
- ✓ どのプログラムにもとても満足しました。特に、座談会では実際に障がいがありながら働いている社員の方からお話を聞けたり、相談にのっていただけたのでとても良かったです。
- ✓ 一緒に参加したグループのメンバーに話をするという部分が最も役に立つと感じました。考えていることを言葉にするのは少し難しかったですが、話していく中で少し成長できたかなと感じました。
- ✓ 自分のやりたいことばかりを考えていましたが、社会や企業から求められていることについても考えなければいけないと思いました。もう少ししっかり考え、今後に活かしたいです。



NANAIRO

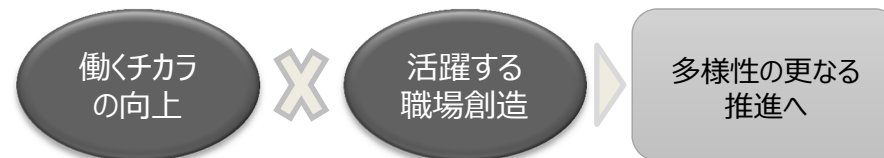
# 株式会社NANAIRO会社概要

## これからの障がい者雇用は人材の確保から 人材が活躍できる組織作りに

NANAIROは、企業における障がい者雇用推進を人材開発と組織開発（雇用/リテンション/人材育成/制度・業務設計/組織風土醸成等）、双方の視点からトータルアプローチで支援いたします。ダイバーシティ&インクルージョンの観点から個々の障がいと持ち味・能力特性を積極的に業務と組織に活かし、戦略的な経営力向上に繋げてゆくソリューションを提供します。

## NANAIROのマーケットリーダーシップ

障がいのある社員を含む全ての社員の



サービス領域	NANAIRO診断	コンサルティング	教育研修	人材紹介・定着支援
	障害のある社員が活躍する組織はどのような組織であるべきか？そのあるべき姿に向けて現在の組織の状態を把握します。	障がい者雇用が推進するためのレバレッジポイントを見出し、組織のあるべき道筋、課題の解決策を描きます。	経営・管理職・配属先部署、また、障がいのある社員向など課題を解決する上でキーパーソンに向けた教育研修の機会を提供します。	就労移行支援事業所などの専門機関とのネットワークによりその組織に適した人材の紹介と定着に向けたフォローを行います。
	現状把握・効果測定	課題設定・仕組み作り	啓発・スキルアップ	適切なアサインメント・定着

社名	株式会社NANAIRO（英文表記 NANAIRO, Inc.）
URL	www.sevencolors.co.jp
所在地	〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-19-19 恵比寿ビジネスタワー7F
TEL・FAX	TEL : 03-5793-3126 FAX : 03-5793-3127
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 法人向けの障がい者雇用支援コンサルティング並びにアドバイザー業務（障がい者雇用方針・計画策定、人事・教育制度構築等）</li> <li>2. 法人向け障がい者雇用に関する公開セミナーの企画・運営</li> <li>3. 障がい者を中心とした人材紹介サービス（有料職業紹介事業許可番号 13-コ-307279）</li> <li>4. NANAIRO診断(障がい者雇用組織活性度診断)の企画・運営</li> <li>5. その他、障がい者の就労支援に関する法人向け、トータルソリューションサービスの提供</li> </ol>
設立年月日	2015年（平成27年）4月1日
役員構成	代表取締役社長 白砂 祐幸 取締役 高橋 稔 取締役 横小路 力 監査役 山崎 教世
アドバイザー	秦 政



CELM  
GROUP

可能性が動き出す

**Activate Your Potential**

